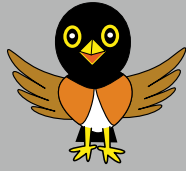


こっこめ通信 12 2022

「それぞれの時間経過」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

常春の島、八丈島も朝晩の冷え込みに冬の訪れを感じるようになり、年末が押し迫ってきたのを実感するようになりました。海岸沿いではイソギク、山ではツワブキなど冬の花が咲き始めました。

渡り鳥も、カモの仲間やオオバン、カシラダカなど今の季節に見られる種類が増えてきました。

そこで、今月は今時分ほぼ毎年見られる冬鳥と、今年見られたとても珍しい渡り鳥のお話です。(M.K.)

おじゃりやれ、常連さん

※ 画像下は撮影日と撮影した場所



2022.11.6 南原スポーツ公園



2022.11.6 南原スポーツ公園



2022.11.6 南原スポーツ公園



2022.10.8 八丈植物公園内



2022.11.15 神湊漁港内



2022.11.07 和泉親水公園



2022.11.18 南原千畳敷



2022.10.30 八丈植物公園内



2022.10.30 八丈植物公園内



2022.11.04 大渦浦園地



2022.11.07 和泉親水公園



2022.10.27 南原スポーツ公園



2022.11.6 旧国際観光ホテル前



2022.11.14 八丈富士鉢巻道路



2022.11.4 南原スポーツ公園



2022.10.31 永郷富士山線

<今号で紹介した野鳥以外で秋以降に島にやってきた野鳥>

コハクチョウ、オシドリ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、クロアシアホウドリ、ウミウ、アオサギ、チュウダイサギ、チュウサギ、バン、オオバン、チュウシャクシギ、タカブシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ツバメチドリ、ミサゴ、ハイタカ、コミミズク、ハヤブサ、ツバメ、ムクドリ、ジョウビタキ、ノビタキ、エゾビタキ、ハクセキレイ、タヒバリ、アトリ、ハギマシコ、カワラヒワ、シメ、マヒワ。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。

八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

2022年に見た、お初とお久の珍鳥

渡ってきた鳥たちはどの位の時間、島に滞在しているのでしょうか？長く滞在し疲れを癒やすのか？直ぐに渡りを再開してしまうのか？その滞在時間によっては確認されずに島を離れてしまうことがあるかもしれません。今回は久し振り確認された鳥（本当に久し振りなのかは定かではない）と八丈初記録を紹介します。(H.T.)



2022年7月9日撮影 八丈電設さん

ベニバト *Streptopelia tranquebarica*

三根地区にある八丈電設さんから7月7日と9日、キジバトに混じって駐車場にいた「ベニバト」を撮影したと情報がありました。見た時はキジバトよりも小さくアカッココかと思ったとのこと。写真を見るとオスのようです。

ベニバトは八丈島では**初記録**となります。伊豆諸島でも2012年11月に伊豆大島で記録があるだけです。



2022年10月9日撮影 磯田加奈子さん

ツルクイナ *Gallicrex cinerea*

10月9日、和泉親水公園で見慣れないクイナの仲間を撮影したと島民の磯田加奈子さんよりメールが届きました。クチバシの形状などから「ツルクイナ」と同定しました。

山階鳥類研究所には1923年10月と1929年10月に八丈島で採取した標本が保管されています。それから確認された記録がないので、**92年ぶり**の記録となっています。



2022年10月18日撮影 八丈VC(H.T.)

ヒシクイ *Anser fabalis*

一番古い記録は山階鳥類研究所に保管されている1922年11月に採集されたオスとメス。その後の記録は途絶え、74年後の1996年に確認、2000年代に入ってから数年おきに記録されています。今年の年始にも2羽確認されているので**9ヶ月振り**ですね。翌日は見られなくなってしまったので、数日の滞在だったのかもしれませんが。



2022年10月31日撮影 川崎喜弘さん

キガシラセキレイ *Motacilla citreola*

ビジターセンターの記録では、2000年4月30日にオスが確認され、その10年後の2010年5月22日にメスが確認されています。そして**12年振り**に確認されたのは幼鳥と思われる個体。島の鳥を撮影している川崎喜弘さんが撮影してくれました。話を聞いてすぐに探しましたが、その後は姿が確認されていません。滞在時間が短かったのでしょうか？



2022年11月2日撮影 八丈VC(H.T.)

オオジュリン *Emberiza schoeniclus*

2016年11月5日に南原の残土置き場で記録されたのが一番最近なので、**6年振り**の記録になります。今回も同じ南原の残土置き場でした。今までは1羽ずつでしたが、今年は初めて2羽同時に記録されています。カシラダカも例年よりとても多く、同時期に渡ってきたのかもしれませんが。

第一発見者はキガシラセキレイと同じ川崎喜弘さんでした。

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の「八丈植物公園季節調査会」は公園の中央を巡るBコースの三回目になります。

11月13日の予定が雨のため中止になり、改めて14日にスタッフのみで調査を行いました。野鳥ではカラスバトを数羽確認し、昆虫はハラビロカマキリが車道や園路を歩いている姿をよく見かけました。(M.O.)

八丈植物公園季節調査(2022年度第8回) 調査日:11月14日 調査者:VC木下、VC沖山

NO.	和名	状態	NO.	和名	状態	NO.	和名	状態
①ソテツの築山南側			27	カラムシ	実	63	ヒメユズリハ	実
1	モチノキ雌木	実	28	キツネノマゴ	実	64	ヒメヨツバムグラ	実
②芝生広場			29	コナスビ	花	65	フウトウカツラ	実
2	スタジイ	葉	30	コニシキソウ	実	66	ヘクソカツラ	実
3	ヤマモモ雌木	葉	31	コミカンソウ	実	67	ホルトノキ	実
③砂場遊戯車道			32	ゴムノキ	花	68	メヒシバ	実
4	ホルトノキ	実	33	シチトウスミレ	閉鎖花	69	ヤブニッケイ	実
④日本の森サクラ広場			34	シチトウタラノキ	実	70	ヨツバムグラ	花
5	ヤブニッケイ	実	35	シマクサギ	花・実	シダ植物		
6	タブノキ	葉	36	シマササバラ	実			
⑤日本の森アジサイ山			37	シマナガバヤブマオ	実	1	イシカグマ	
7	ミツバアケビ	葉	38	スズメノカタビラ	花	2	ウチワゴケ	
⑥車道			39	スタジイ	実	3	オオタニワタリ	孢子目立つ
8	シマモクセイ雄木	花	40	セイタカアワダチソウ	蕾	4	オニヤブソテツ	
⑦車道			41	セイヨウタンポポ	実	5	カニクサ	孢子葉
9	イヌマキ雌木	実	42	センダン	実	6	シケシダ	
⑧メタセコイア植栽地			43	タネツケバナ	蕾	7	タチクラマゴケ	
10	ヤマモモ雄木	葉	44	チヂミザサ	花	8	タチシノブ	
⑨世界の森			45	ツクシメナモミ	花	9	タマシダ	
11	イヌマキ雄木	葉	46	ツルグミ	蕾	10	トラノオシダ	
12	モチノキ雄木	葉	47	ツルソバ	花	11	ナチシケシダ	
⑩ソテツの築山北側			48	ツククサ	花	12	ノキシノブ	
13	シマモクセイ雌木	花	49	ツワブキ	蕾・花	13	ハチジョウカナワラビ	
14	ハゼノキ雄木	葉	50	テイカカズラ	実	14	ハチジョウシダ	
15	アオキ	虫こぶ	51	トベラ	実	15	ハマハナヤスリ	
16	アオノクマタケラン	実	52	ナガエノコミカンソウ	実	16	ヒトツバ	孢子葉
17	アキノノゲシ	実	53	ノジスミレ sp	閉鎖花	17	ホシダ	
18	アシタバ	実	54	ハキダメギク	花	18	ホラシノブ	
19	イヌビワ	実	55	ハゼノキ	実・紅葉	19	マツバラ	孢子嚢
20	イワニガナ	花・実	56	ハチジョウウイボタ	実	20	マメツタ	孢子葉
21	ウスベニニガナ	花	57	ハチジョウキブシ	花芽・実	21	ミゾシダ	
22	エダウチチヂミザサ	花	58	ハナイバナ	花	今回はシダ植物 21 種を含む 91 種の植物を観察しました。ツワブキが一斉に花芽を出し咲き始めていました。		
23	オオバコ	花・実	59	ヒサカキ	蕾			
24	オオムラサキシキブ	実	60	ヒナギキョウ	実			
25	オニタビラコ	実	61	ヒメクグ	花			
26	ガクアジサイ	実	62	ヒメムカシヨモギ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、久し振りに発見された「ハイロゲンゴロウ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハイロゲンゴロウ

Eretes griseus

ゲンゴロウ科ハイロゲンゴロウ属。北海道から沖縄まで広く分布しているゲンゴロウ。小笠原諸島での記録もあります。

八丈島の昆虫相を研究されている川畑氏の「伊豆諸島八丈島の甲虫II」によると「1994年11月にプールで採集された一匹のみの記録がある。」と記載されています。今回は大賀郷にあるプールで数匹採集されましたが、**28年振り**ということになります。(H.T.)

2022 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります				1	2	3 ガイドウォーク
				12:18 23:11	13:05	01:19 13:44
4 ガイドウォーク	5	6	大雪 7	○ 8	9	10 ガイドウォーク
02:44 14:49	03:45 14:49	04:32 15:20	05:13 15:51	05:50 16:22	06:25 16:52	06:58 17:22
08:10 21:01	09:02 21:36	09:46 22:10	10:26 22:43	11:02 23:16	11:35 23:49	12:07
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	12	13	14	15	◐ 16	17 ガイドウォーク
07:32 17:52	08:06 18:23	08:41 18:55	09:20 19:33	10:04 20:27	10:54 22:00	11:47
00:22 12:37	00:56 13:09	01:31 13:45	02:08 14:32	02:48 15:39	03:36 17:15	04:36 18:42
18 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」	19	20	21	冬至 22	● 23	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「大人クラフト お正月飾りを作ろう」
00:14 12:37	01:58 13:22	03:11 14:04	04:09 14:44	05:01 15:24	05:50 16:05	06:37 16:48
05:50 19:39	07:08 20:25	08:17 21:06	09:15 21:48	10:06 22:31	10:53 23:14	11:36 23:59
25 ガイドウォーク	26	27	28	29 ガイドウォーク 特別行事 「体験八丈太鼓」	30 ガイドウォーク 特別行事 「体験八丈太鼓」	31 ガイドウォーク 特別行事 「体験八丈太鼓」
07:23 17:31	08:07 18:17	08:50 19:06	09:30 20:00	10:09 21:07	10:48 22:46	11:24
12:19	00:44 13:03	01:29 13:50	02:13 14:44	02:57 15:51	03:42 17:13	04:27 18:33

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
12/11(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

冬の特別行事 「リースを作ろう」

毎年恒例のクラフト行事。身の回りの自然素材を使ってリースを作ります。
12/18(日) (13:30～15:00) 小学生以上(小学生は保護者と一緒に作ります)
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八丈学講座 「大人クラフト お正月飾りを作ろう」

毎月行っている八丈学講座。今月は食品で使う4号缶を利用して小さな門松を作ります。
12/24(土) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」

年末年始恒例の八丈太鼓体験教室です。屋外で実施しますので、雨天の場合は中止となります。
12/29(木)～1/3(火) (13:30から随時開催) だれでも参加できます
ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：ありません

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び年末年始、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.12.1 第259号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

立冬を過ぎ、そろそろ冬の気配を感じ始める11月初旬。島では昔からの大イベント小学校の運動会が開催されました。老いも若きも楽しみにしている行事です。それが終わるのを待ちかねていたかのように冬鳥たちが続々と姿を見せはじめています。(M.K.)